

市庁舎の耐震化整備に関する市民説明会 質疑応答の概要

質問 1

耐震補強及び大規模改修として進めていたものが、熊本地震で建替えの方針へ一挙に変わったのはなぜか。

回答 1

平成 27 年 7 月策定の八千代市公共施設等総合管理計画は、一度決定した耐震改修という方向性が内部的には凍結となっていたこともあり、「耐震改修以外も含めて検討する」という記述で決定し、公表しています。またパブリックコメントも行っています。その後検討に時間を要しましたが、教育委員会との分散化による弊害や執務スペースの狭あい化等を考慮して、最大の建替えで 105 億程度の想定などを有力な選択肢として検討を進めています。

質問 2

建替えによって多額の費用を要するが、財政の改善目標が維持できるか。

回答 2

「財政運営の基本的計画」に基づく財政収支見通しや後期基本計画・実施計画には位置付けていく予定ですが、今から 4 年後まで庁舎整備に係る大規模な建設費は発生しないので、他の事業を取り止めたり、先送りせず見直しが可能と考えています。その次の段階では大規模な建設投資が想定されることから、6 ヶ年で 30 億円の積立てを予定しており、残りについては国庫補助や起債などで賄っていく予定です。

質問 3

本庁舎の耐震補強及び大規模改修という選択肢は放棄したのか。

回答 3

平成 28 年 8 月に建替えに絞って検討を進めていくことを決定しました。不測の要因で耐震補強に戻る可能性は全くないとは言えませんが、市としては現在建替えの検討を進めていく中で議会・市民の理解を得られる選択肢を検討し、市民合意を得ながら進めていきたいと考えています。

質問 4

その他の公共施設について、今後耐震化への対応を検討する場合は、耐震補強ではなく建替えを中心に検討していくのか。

回答 4

その他の公共施設については、その建物の状況、位置、施設の機能等を総合的に考慮し、公共施設ごとに建替えや、耐震補強、複合化等の対応を公共施設等総合管理計画に基づいて決めていきます。

質問 5

新庁舎は災害時の市民の避難所としての考慮はされているのか。

回答 5

市の地域防災計画では、小学校等が避難所に指定されており、本庁舎は避難所には指定されていません。ただし、市庁舎は、災害時に防災対策の中核拠点になることから、本庁舎の耐震補強又は建替えは急務であると考えます。

質問 6

大きな災害の発生時には、市役所だけでなく、下水道や道路、公共施設も大きな損傷を受けることが想定される。その中で市庁舎の建替えの優先度はどれくらいの比重を占めるのか。

回答 6

避難所となる小中学校の耐震改修や八千代台東小学校、八千代中学校の建替えの他、消防本部庁舎の建替えを優先してきたことから、本庁舎の耐震補強ないし建替えの本格的な検討がこの平成20年代の後半に進められている状況になっております。

質問 7

市庁舎を建て替える場合、総額でどれぐらいの事業費がかかるのか。

回答 7

旧館・新館・別館，教育委員会庁舎の合同化を想定し，約 18,500 m²程度の面積で算定した場合，事業費が約 105 億円と見込んでいます。

ただし，条件によって大きく変わってきますので，今後設置を予定している庁舎整備手法等専門会議で専門家の方の意見等を伺いながら進めていきたいと考えます。

質問 8

小中学校のエアコン設置や公民館，図書館等の耐震化を先に整備し，本庁舎は耐震補強を行い，10年ないし15年後に建替えを考えるべきではないか。

回答 8

庁舎建設と他施設の耐震化等の整備は金額の規模が異なりますが，どちらも対応が必要であり，小規模な施設が終わっていないから，大きな建物は後でよいとしますと，大きな建物の手当てが出来ないままとなります。

本庁舎の耐震補強を行っても，10数年以内には庁舎建設に必要な100億円程度の投資をするための積立てを始めなければなりません。総合的に考慮した結果，他の施設へのしわ寄せがなく庁舎の耐震化を進める方策を今後50年スパンで考えると，建替えの方が望ましいと判断しました。

質問 9

「八千代市財政運営の基本的計画」で37年度の目標値は達成できるのか。

回答 9

財政運営の基本的計画は10ヵ年の計画となっており，後半5ヶ年の中で建設費の起債を組むことになれば状況に応じて中間見直し等を行うことが想定されますが，その時点では他の事業への大きなしわ寄せをしない形で柔軟な対応をとることが十分にできるものと考えています。

質問 1 0

小中学校の耐震化整備はほぼ終わりに近づいていると聞いたが、小中学校の構造耐震指標 I s 値については、0.6 以上が確保されているのか。

回答 1 0

小中学校の耐震化については、一般の建物で達成すべき I s 値 0.6 より高い I s 値 0.7 以上を達成すべきとされていることから、耐震補強にあたっては、I s 値 0.7 以上を目標とする設計により、耐震補強工事を完了しました。一方、つり天井等の非構造部材の改修工事については一部完了していないため、現在つり天井等の改修工事を進めているところです。

質問 1 1

公民館の有料化など受益者負担について検討しないのか。

回答 1 1

市では行財政改革の一つとして、受益者負担の導入や使用料の適正化といった課題に取り組んでいます。しかし、具体的に何年度までに導入するという計画の策定までは至ってはいません。

市としては、必要な改修や補修を進め、管理者の責任を果たす一方で、受益者負担についても市民や議会の理解を得られるよう進めていきたいと考えています。

質問 1 2

市庁舎を建て替える場合、現在の敷地に建てるのか。それとも他の敷地に建てるのか。

回答 1 2

現在の敷地や、他の候補地として市が所有している未使用の土地に庁舎を建てた場合等を想定し、検討していきます。

質問 1 3

庁舎整備手法等検討調査業務委託は、どのような業務内容か。

回答 1 3

整備手法等の検討調査を行うための業務として、平成 2 8 年 1 2 月議会にて補正予算の議決を受け、業者の選定後に業務を開始したところであり、平成 2 9 年度中に調査結果が出る予定です。

質問 1 4

庁舎整備手法等検討調査業務委託では、民間活力の導入も検討するのか。

回答 1 4

P P P や P F I を活用した場合などの検討を行う予定です。

質問 1 5

八千代市の財政情勢は、類似団体である人口 1 5 万以上 2 5 万未満の 2 1 の団体の中で最低のランクに近いにも関わらず、大きな金額の起債をするということに、疑問に思う。

回答 1 5

2 7 年度決算では八千代市の財政指標はすべて改善していますので、数ランクあがるものと見込んでいます。

また、建替えのような大規模な事業の場合、起債をせずに一般財源だけで建設すると、5 0 年、6 0 年先の市民も使えるものを現在の市民の負担だけで造ることになるため、長期の寿命のある施設は、財政の健全性を損なわない範囲で起債をすることについて、市民の理解が得られると考えています。

質問 16

市民アンケートだけでなくワークショップを，コンサルタント業者から委託業務の報告書が作成された段階等で開催してほしい。

回答 16

庁舎整備手法等検討調査業務委託の報告書が作成された後，平成30年度以降の進捗の中で，ワークショップの実施について前向きに検討していきたいと考えています。